

埼玉県バスケットボール戦評記入用紙

大会 インターハイ県予選
 試合 決勝リーグ
 日時 6 月 21日 土 曜日 第 1 試合 時刻 10:00
 記入者名 井上裕史

A チーム	得点	得点	B チーム
埼玉栄 高校	81	58	正智深谷 高校

{

14-17

18-16

18-9

31-16

}

戦評

決勝リーグ初戦山村学園に敗れた正智深谷がインターハイ出場を懸け第1シード埼玉栄に挑む。

第1P、ともにマンツーマンディフェンス。高さに優る栄はインサイド中心のオフェンスをしかけるが正智の素早いヘルプディフェンスに思うようにシュートが決まらず、外角シュートを試みるが精度を欠き得点が伸びない。正智は#4のミドルシュートで先制するとディフェンスリバウンドを頑張り、さらに#11の3Pシュートなど外角シュート中心のオフェンスで対抗し残り3分8-10と互角の展開を見せる。栄はここから速攻を決め残り1分で12-10と逆転するが、セットプレイではポストへのパスを意識しすぎて単調な攻撃になる、さらにセンターもディフェンスを背負っての強引なシュートが目立ち正智に速攻を許し残り25秒14-15と正智がリード。正智は終了間際にも#5がドライブインを決め3点差とする。

第2P 栄は長身の1年生センター#14がリバウンドシュートを決める。しかし正智#4が3Pシュートを入れ返す。栄は#4の3Pシュート・ミドルシュート、#5のインサイドで加点、一方正智も#10の3Pシュート中心に対抗、両者一步も譲らず残り30秒を切るまで4点差の攻防が続いたが、ラスト1プレイで栄#4の3Pシュートが決まり1点差で前半を折り返す。

第3P 立ち上がり栄は#5のミドルシュートで逆転すると、その後ターンオーバーから速攻・#14のリバウンドシュートで攻勢をかける。しかし正智も粘る、栄センターに対してアウトサイドシュートで攻め5点差を維持して残り4分44-39、栄は#5のリバウンド・#14のカットインなど2人のインサイドプレーヤーが本領を発揮し始める。正智はこのピリオド3Pシュートを1本も決められず苦しい展開となるがそれでも8点差、最終ピリオドへ望みをつなぐ。

第4P 栄#5がリバウンドにローポストアタックにとフル回転、ディフェンスではボールに対して積極的にプレスをかけ正智のシュートを止めるとともにミスを誘う。残り6分57-42と15点差、正智は#8がリバウンドシュートを決めるがこのピリオドこれが初ゴール。正智は2-3ゾーンディフェンスでインサイドを固めるがここに来て栄の3Pシュートが決まる。正智はゾーンをマッチアップゾーンに変えて追い上げを図るが栄#5がインサイドで圧倒、山村学園とともにリーグ戦2勝目を挙げ埼玉栄がインターハイ出場を決めた。